

香港を覚えて 第一回連祷

司式) 天地を造られた全能の父なる神よ、私どもはプロテスタント教会にとって大事なこの日に、香港のキリスト者を覚えて集まってまいりました。祈りを必要とする人間がかの地に生きており、祈りによって変えていく必要のある現実があるからです。

会衆) 神よ、どうか私どもを憐れみ、からし種のような信仰を受け取り、この山を動かしてください。

司式) 恐怖に押しつぶされている人々がおります。不安で萎縮している仲間がおります。信頼していた国に裏切られ、託していた安心が崩れ去り、消えることのない心の傷を受けています。その心の悲しみがどんなに深いものであるか、はかり知ることができません。

会衆) けれども、あなたはすべてをご存知です。どうかあなたの御手を伸ばしてください。その心の傷にあなたが触れてください。あなたが、その心に、平安をお与えください。

司式) 危険を顧みず、山のように大きな力と向き合っている仲間がおります。言葉を失った人々の声となり、失われた自由と誇りを取り戻すために、誰かがやらねばならぬ問題に祈りつつ向き合っている仲間がおります。

会衆) 主よ、どうかその一人一人をお支えください。くじけそうになるときは、祈ることを教えてください。あなたは必ず、その祈りに応えてくださいます。

全員) 政府に関わる者たちのために祈ります。この世の力で凍りついた心を、あなたの愛で溶かしてください。問題を抱えているところには、あなたが良き解決の道を拓いてください。

司式) 私どもがこの出来事について無関心であることがありませんように。暗い時代の中で、窮地に追い込まれているアジアの信仰の仲間がおります。福音を宣言したことによって安全な生活を失った仲間がおります。普段の生活を取り戻しても、心に光が届かない方々がおられることを覚えます。

会衆) 光そのものであられる主よ、そこにこそあなたが届いてください。十字架の主が共にいまして、今一番必要な慰めと支えを与えてください。どんな時でも、神が共におられるとの確かさの中で平安に生きることができますように、あなたの御手を伸ばしてください。

全員) 必要ならば、どうか主よ、私どもをお遣わし下さい。私ども日本のキリスト者を、アジアや世界の仲間と共に、あなたにお従いする祈りの群れとして生きる者とさせてください。 救い主イエス・キリストの御名によって祈り捧げます。アーメン